

部長	課長	課長補佐	係長	係員
第2回 伊那市・子ども子育て審議会			令和5年3月5日 19時00分～	市役所 501会議室
出席者	<p><b>【委員】</b>            養田明美委員、宮坂文子委員、遠山匡委員、田中真人委員、大場保子委員、宮原健委員、清水まゆみ委員、田畑和輝委員、小出豊委員、宮田克思委員、高橋明星委員、原一馬委員</p> <p><b>【事務局】</b>            松澤保健福祉部長、北原子育て支援課長、小松課長補佐兼保育係長、伊藤子育て支援係長、竹松保育施設係長</p>			
配布資料	別紙のとおり			
説明の内容	以下次第のとおり			
<p>1 開 会 副会長</p> <p>2 委員委嘱（1名） 机上交付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副会長交代の説明と事務局案の提示</li> <li>新副会長 選任</li> <li>・委員名簿の変更と説明</li> </ul> <p>3 あいさつ 会長 保健福祉部長</p> <p>4 協議事項 進行 審議会長</p> <p>(1) 伊那市子ども・子育て支援事業計画の令和4年度個別事業実績（見込み）について</p> <p>(2) 伊那市子どもの未来応援計画の令和4年度個別事業実績について</p> <p>(3) その他報告事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度予算の主な子ども子育て支援に関する事業について</li> <li>・保育園等の入園状況及び定員の変更について</li> </ul> <p>5 その他 特になし</p> <p>6 閉 会 副会長</p>				

【議事録】

協議事項（１）、（２）より

〈委員〉

質問１（資料番号１ 通し番号６６）

職安からの紹介で採用した職員は何人いるのか、配慮が必要なお子さんに対して保育士の数は足りているのか

質問２（資料番号１ 通し番号８１）

防犯対策について、今年保育士による園内での虐待が話題になったが、その発端は内部告発、伊那市ではそういった内部告発はこれまでであったのか

質問３（資料番号１ 通し番号５４）

スマホアプリ「こころむすび」の利用者はどの程度あったのか

回答１

職安の紹介による採用人数は年間１０名強程度である。

支援保育士は就園支援委員会で必要人数について検討を行っている。本年度については４１名程度が必要と判断し配置を行っている。又、年度途中で子供たちの成長に併せ配置換えなども行っている状況である。

回答２

内部告発はない、事件を受けて虐待防止マニュアル内のチェックリストの再確認の徹底等を保育士に行っている。

回答３

利用者数はすぐにお答えできないが、例えば移住者が利用することで人とのつながりができたとか、リユースへの関心の高さも感じているところである。

〈委員〉

４月から男性の育休について制度が大きく変わっており、企業としても制度を設けるだけでなく、制度説明をする義務が課せられるようになった。例えば、移住してきた方に、伊那市には育休取得に理解のある企業があるというのはアピールできる。市が積極的なはたらきかけを行い、お父さんの支援も力を入れていただきたい。

回答

商工振興部門を通じ企業への働きかけを行っていく。ご意見を参考にさせていただきます。

〈委員〉

乳児おむつ用品購入券支援についてチケットに使用期限があるのに理由はあるのか。２歳くらいまでおむつが必要なお子さんもいるため年齢の引き上げもできないのか

回答

使用期限の理由、担当課に確認しお伝えします。

<委員>

(資料番号1 通し番号94・95番)

どのような相談体制をつくり何件くらいの相談があったのか

意見として、入園前から子供相談室で関わってきたお子さんについては入園申し込みが出された段階で園に情報を頂けるとありがたい。

回答

件数について10件程度であり、専門家へダイレクトに相談できる体制が出来ている。

情報提供について、市として情報共有を大切にしているが状況により伝わっていないことがあるようですので、子供相談室とも引き続き連携を図っていきます。

<委員>

(資料番号1 通し83番)

おいで塾などは夏休みにしかやっていないのでそのほかの長期休みのも実施していただきたい。

回答

生涯学習課に伝えるようにいたします。

協議事項(3)より

<委員>

利用定員と状況について、園によっては利用定員を大きめに設定していて実質的は7割台6割台になっている保育園もあるが伊那市の保育園運営上不利になっていることはないか

回答

長期的に見て運営上適正でない人数設定と判断した場合において本審議会でも審議いただき定員数を減らすこともあるが、単年度では判断ができない。

<委員>

出生数が減っているのに園児数は減っていくと思われるが、移住により園児が増え人数が確保されているのか、そういった人数把握分析は行っているのか

回答

人口増のビジョンもあり、目標値に併せ施策も行われている。内訳について詳細に把握をしているわけではないが、出生率が減っている中で未満児の入園が増加している実態があることは確かであるため、保育園の利用者は増えていくという実感はある。

【その他】

次回については令和5年9月ごろを予定